

都市再生整備計画(第3回変更)

みなみせんりえきしゅうへん
南千里駅周辺地区

おおさかふ すいたし
大阪府 吹田市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	吹田市	地区名	南千里駅周辺地区	面積	410.2 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標

大目標:「魅力あふれるにぎわいのあるまち」の再整備

目標1:交通利便性の向上:交通広場のロータリー化による交通環境の改善や、駅やバスターミナルへの歩行者動線のバリアフリー化、アーケード化等により交通結節点としての機能の充実を図る。

目標2:アメニティの向上:千里ニュータウン南地区の拠点としてふさわしい憩いと潤いのある空間を創出するため、駅前広場内に緑化施設等の整備や千里南公園の再整備を行い、まちの魅力の向上を図る。

目標3:地域コミュニティの形成:千里ニュータウンも開発後、約40年が経過し、住民意識が変化する中で、若者から高齢者まで多様な世代が協働交流し活気あるまちづくりを一層すすめるための場所や機会の提供、市民相互の交流の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

千里ニュータウンは、戦後の人口増加による住宅需要に対応するために昭和33年(1958年)に開発計画が決定され、昭和36年(1961年)から昭和45年(1970年)にかけて建設が行われた。その後、40年が経過し、居住水準の向上や高齢化に伴うバリアフリー化、ライフスタイルの変化に伴うニーズの多様化に十分な対応ができていないことに併せ、施設の老朽化も相まって、まちのあり方を議論されるようになってきた。当南千里地区についても、5地区(津雲台、竹見台、佐竹台、高野台、桃山台)の多世代の人々が住む場、交流する場としての現在のニーズに合った地域拠点としてのまちづくりを行うものである。

経過

平成13年(2001年)3月「千里ニュータウンの再生を考える100人委員会」設置。公募市民で構成し『生活者の視点から』40年を経過した千里ニュータウンの『環境』、『少子・高齢化』、『文化・コミュニティ活動』、『コミュニティ支援施設』、『住宅・交通』の5つの分野についての意見交換を行い、平成14年(2002年)12月に「市民が考え・発信する千里ニュータウンの再生ビジョン」を報告された。これを受け、平成15年(2003年)11月吹田市として、「千里ニュータウン再生ビジョン」を作成、新たな千里ニュータウンのまちづくりの課題の認識とその方向性を示した。平成16年(2004年)3月、千里ニュータウンの南玄関となる千里南地区(阪急南千里駅周辺)についての「千里南地区センター再整備の基本的な考え方」を吹田市と財団法人大阪府千里センターで作成。

平成17年(2005年)9月~平成18年(2006年)9月「南千里駅周辺まちづくり懇談会」開催(計10回 延べ434名)。近接5住区の住民を中心に具体的な再整備事業実施に向けて①公共施設、②交通広場、③連絡デッキ、④公共広場についての意見を出し合い、平成18年(2006年)10月「南千里駅周辺まちづくり懇談会 整備計画まとめ」を市長に提出した。これに基づき吹田市として、平成19年(2007年)3月「千里南地区センター再整備事業基本計画(案) 報告書」を作成、事業着手に取り組む。

課題

①公共施設「(仮称)南千里駅前公共公益施設」

市民センター等の既存公共施設は老朽化が進み、またバリアフリー等の機能も不足しているため、早急な更新が必要である。また、ニュータウン完成から40数年を経て、市民ニーズの多様化・高度化に対応できるよう機能の拡充の要求も強くなっており、新たな機能を持つ施設設置も急務である。

②交通広場

現状の交通広場は府道への直接接続の通り抜け道路となっており、公共交通、自家用車、自転車、歩行者の交通導線が錯綜している。また、千里ニュータウンの南玄関として一日乗降客2万5千人を超えるターミナルにもかかわらず、老朽化や現行のユニバーサルデザインにも対応できていない上、景観的にも平面駐輪場や老朽化した歩道面等、非常に劣っている。

③連絡デッキ

5地区から駅に向け接続された連絡デッキは、現行の耐震基準に対応できていない上、ニュータウン築造時点の地形を利用して設置されており導線が円滑では無く、また、バリアフリー等にも対応していない。

④公共広場(2期整備計画で予定)

現在、南千里駅周辺には市民が集い憩える一定のスペースが存在しない。地域核としてイベントや祭りなど行える場としての公共広場の整備の要望は強い。

将来ビジョン(中長期)

・吹田市第3次総合計画(平成18年3月)においては、基本方向として「多様な商業・業務機能に加えて市民の文化や学習、交流の拠点として、充実に努めます。」と示されている。

・吹田市都市計画マスタープラン(平成16年3月)においては、「1. 将来にわたってまちの活力を持続できるよう時代のニーズに対応した各種の機能を充実。2. 生活に必要な都市基盤を身近に整えとともに、文化的な環境の中で若者から高齢者まで多様な世代が楽しく交流できる活気あるコミュニティの形成をめざします。」とし、まちづくりのテーマ(目標)としている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
交通利便性の向上	m	府道吹田箕面線南行き道路の朝ラッシュ時の渋滞長	ロータリー化による交通動線の整理から渋滞長の減少を目指す。(目標1)	330	平成20年度	200 平成25年度
アメニティの向上	%	南千里駅周辺利用者によるアメニティに対する満足度(満足度アンケートによる)	次代のニーズにマッチした駅前再整備を行い、潤いある景観を創造することによる街の魅力向上効果の満足度を確認する。(目標2)	21	平成20年度	31 平成25年度
(仮称)南千里駅前公共公益施設の利用者数	人/年	千里市民センター、高齢者拠点施設機能(現千里市民センターの一部)及び生涯学習施設機能(南千里地区公民館)の利用者数の推移	千里市民センター等を地域住民の種々のニーズを受けとめる施設として、利用者の増加を目指す。従前値は既存施設の「千里市民センター」と「南千里地区公民館」の年間利用者数を示す。(目標3)	130000	平成18年度	143000 平成25年度

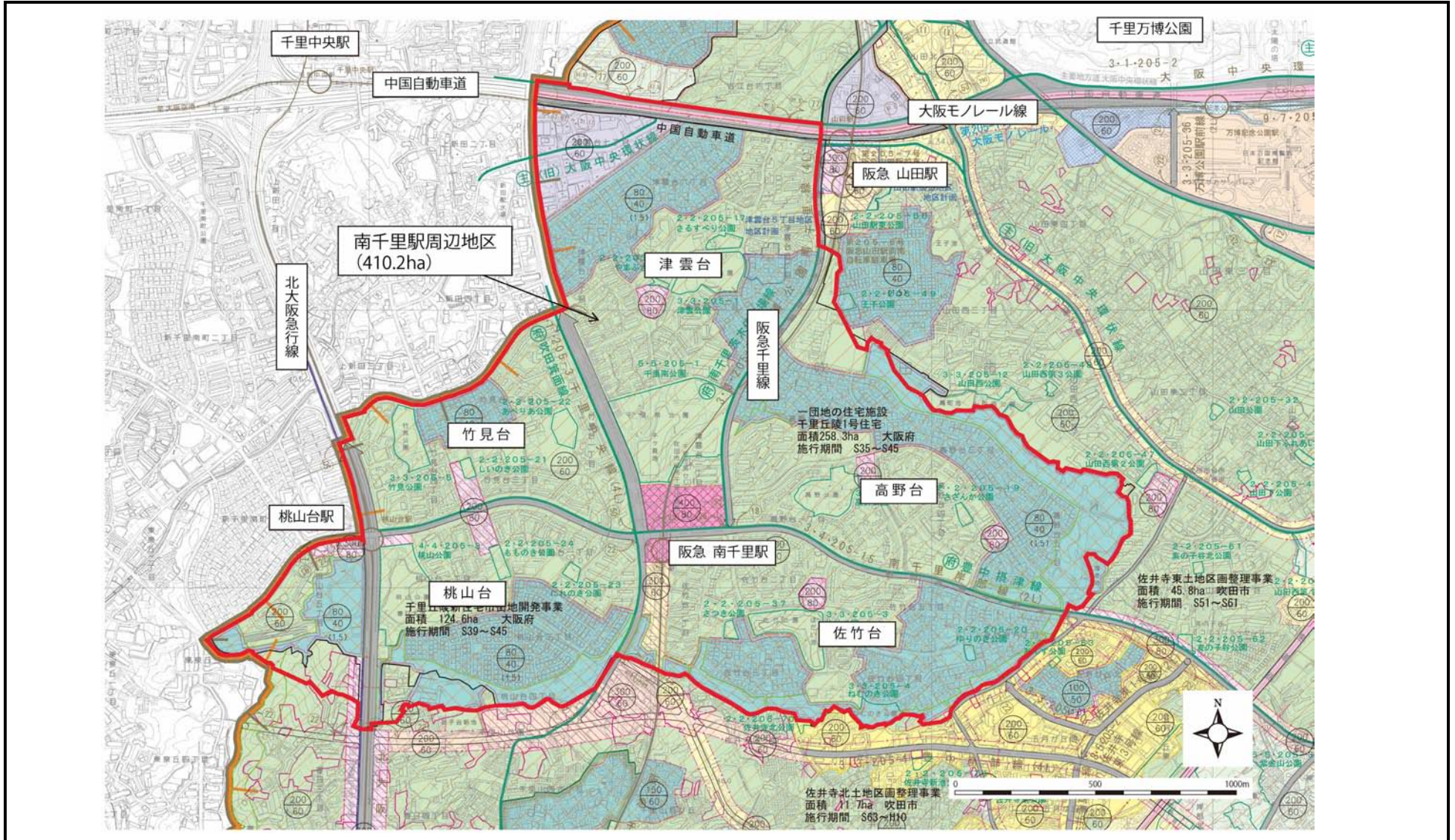
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(交通利便性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状通り抜けの駅前道路のロータリー化を図り、交通導線の整理を行い安心安全の施設とする。また駅と交通広場等との相互アクセス経路となる歩道や歩行者デッキ、エレベーターやエスカレーター設置等によるバリアフリー化を行う。さらに地下機械式自転車駐車場の設置等で交通結節点としての機能を充実させ、地域の交通環境や利便性の向上を図る。 	<p>道路事業(基幹事業) 地域生活基盤施設(基幹事業/自転車駐車場) 高次都市施設(基幹事業/歩行者デッキ) 南千里地区道路特定事業(関連事業/バリアフリー) 桃山台駅前整備事業(関連事業/歩行者デッキ、EV)</p>
<p>整備方針2(アメニティの向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里ニュータウンの南の玄関口にふさわしい憩いと潤いのある空間を創出するため、駅前広場内や駅前デッキに緑化施設等の整備を行う。また近接する都市公園である千里南公園の機能充実のため、バリアフリー化等再整備も行き、まちの魅力の向上を図る。 	<p>高質空間形成施設(基幹事業/シェルター) 地域生活基盤施設(基幹事業/公園)</p>
<p>整備方針3(地域コミュニティの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千里ニュータウンも開発後、40年が経過し、住民意識が変化の中で、地域協働によるまちづくりを一層すすめるための場所や機会の提供により、市民相互の交流の向上や魅力のあるコミュニティの形成を図る。また住区の高齢化に伴う健康や交流事業の促進、周辺大学との連携など地域特性を踏まえた、新たな公共サービス機能導入を図り、更なる発展をめざす。 	<p>高次都市施設(基幹事業/千里市民センター) 地域創造支援事業(提案事業/情報発信拠点施設、地域福祉保健拠点施設、地域交流拠点施設)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市景観への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の再整備にあたって、吹田市の玄関口にふさわしい憩いと潤いのある空間を創出し、都市景観にも配慮した再整備を行うため、学識経験者で構成される吹田市都市景観アドバイザー会議に計画案を諮り、都市景観の形成に関して助言を求める予定である。 ○関連事業の推進による総合的なバリアフリー化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・吹田市交通バリアフリー基本構想及び同道路特定事業計画に即して、交通安全施設等整備事業(統合補助)を活用し、また大阪府による府道部の整備とも連携し、特定経路のバリアフリー化を平成21年度から行う。 ○第2期工事について <ul style="list-style-type: none"> ・住民要望も強く、また老朽化の進む南千里駅周辺施設の整備を第1期としたため、第2期工事として5地区に係る各種整備に向けての検討を関係部署と行い、平成27年度より着手予定である。 	

都市再生整備計画の区域

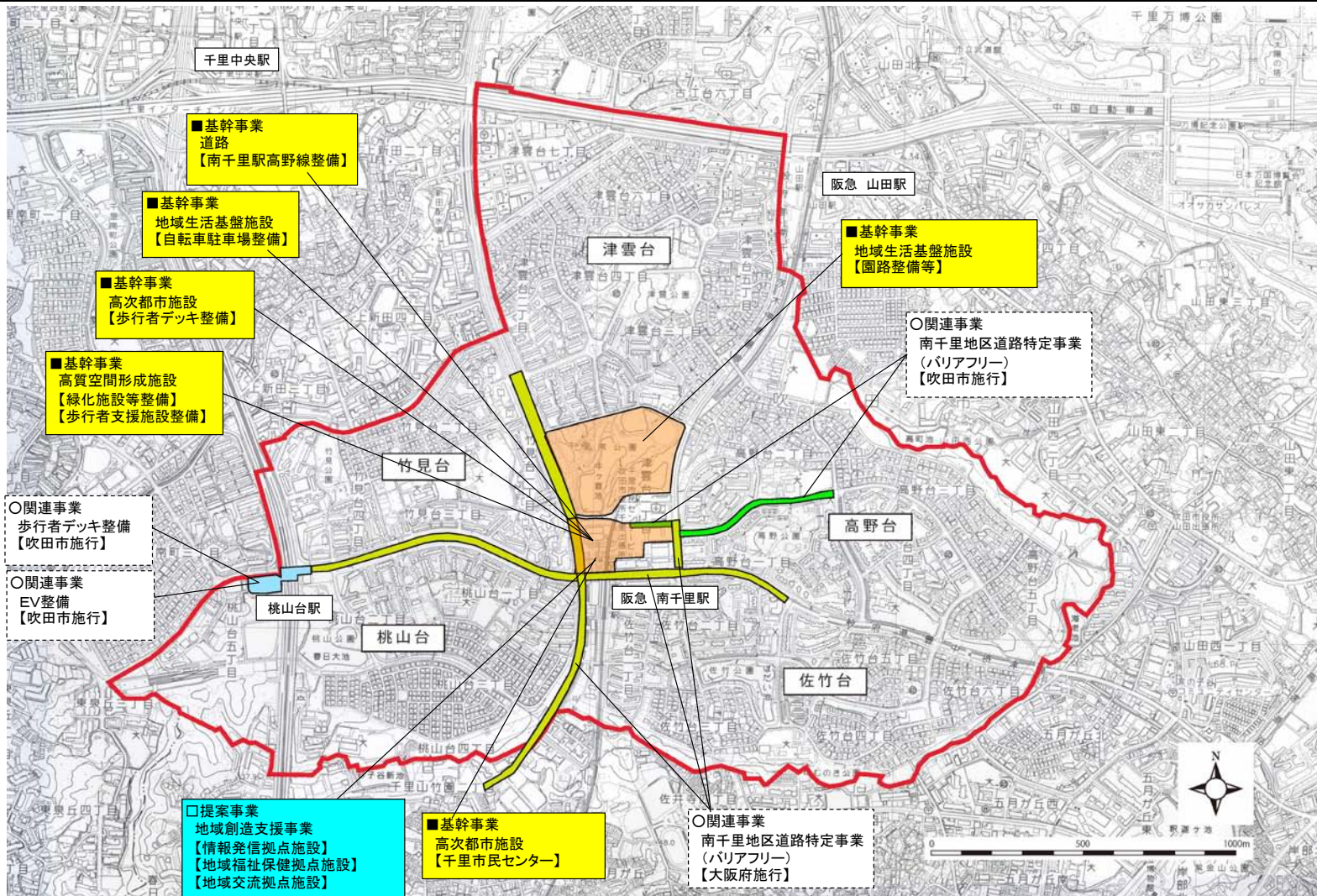
南千里駅周辺地区(大阪府吹田市)

面積	410.2 ha	区域	津雲台、竹見台、佐竹台、高野台、桃山台
----	----------	----	---------------------



南千里駅周辺地区(大阪府吹田市) 整備方針概要図

目標	「魅力あふれるにぎわいのあるまち」の再整備 ・交通利便性の向上 ・アメニティの向上 ・地域コミュニティの形成	代表的な指標	交通利便性の向上 (m)	330 (20年度) → 200 (25年度)
			アメニティの向上 (%)	21 (20年度) → 31 (25年度)
			公共施設の利用者数 (人/年)	130000 (18年度) → 143000 (25年度)



凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業